

- P.12\_\_1行目 周波数とは、1秒間に音の振動が → 周波数とは、1秒間に振動が  
4行目 音名 → 階名
- P.13\_\_図解説2行目 ここに記録される他。最近では → ここに記録される。また最近では、
- P.23\_\_下から2行目 サラウンドアレイで再生 → サラウンドアレイのように複数のスピーカーで再生  
(P.24\_\_非可逆圧縮(不可逆圧縮ともいう))
- P.28\_\_ $R_t=L+0.7\times C-0.7j\times S$  →  $R_t=R+0.7\times C-0.7j\times S$   
(デコーダ  $L=L_t$   $R=R_t$   $C'=0.7\times[L_t+R_t]$   $S'=0.7\times[L_t-R_t]$  )> (この方が図に合う説明になります。)
- P.29\_\_プロロジック2x → ドルビープロロジック2x
- P.33\_\_3行目、192Hz → 192kHz
- P.46\_\_9行目 アートスフィア → アクアスフィア  
下から2行目 人間は左右の2つ耳だけで → 人間は左右2つの耳だけで
- P.51\_\_下から3行目 約2万円という → 約3万円という
- P.61\_\_最終行96万回 → 9万6千回
- P.68\_\_5行目 サンプリング周波数という切れ目 → サンプリングという切れ目
- P.69\_\_図C 2bitの場合 下下=01 → 下下=00
- P.94\_\_下から7行目 ある程度の標準が → ある程度の基準が
- P.98\_\_下から4行目と図中 30msec以下のズレ → 20msec  
(下から9行目の30msecは訂正不要です。ハース効果になるのが20msec以下という事です。)
- P.101\_\_下から3行目 テレビあるなら → テレビがあるなら
- P103\_\_7行目 レーザースコープ → レーザーポインター
- P.107\_\_下から5行目 なお、SWは後方には適さない → なお、SWは制作では後方に適さない
- P.108\_\_12行目 配線がラクに「おこなえる。 → 配線がラクにおこなえる。
- P112\_\_おこなええる。 → おこなえる。
- P.114\_\_コラムの3行目 横向きか立て向きか → 横向きか縦向きか
- P.123\_\_9行目 1つ1つの音をを → 1つ1つの音を
- P.130\_\_3行目 カプセルに5chと → カプセルに6chと  
4行目 トップchも加えた → トップchと低音専用マイクも加えた  
6行目 日本では販売されておらず～ → 日本でも発売されている。
- P.157\_\_画像のFinal Cut Pro <Compressor> → <Compressor>
- P.157\_\_7行目 Final Cut Proには → DVD Studio Proには
- P.160\_\_画像・映像素材の中にオーディオ素材のタイトルBGM.aifは、オーディオ素材に移動。
- P.161\_\_最後から2行目 代表でが → 代表で
- P.173\_\_下から3行目 ステレオで再生されているので → ステレオで再生されているので
- P.178\_\_下から2行目 「シュミレート」 → 「シミュレート」
- P.180\_\_下から5行目 そらから → それから